



人いきいき

地域の子どもの入学を期待し、訓高存続を願う

訓子府高校は、今年創立70周年を迎えます。節目を祝うため、北海道訓子府高等学校創立70周年記念事業協賛会が立ち上げられました。会長を務める橋本さんは「70周年を契機に訓子府高校をさらに盛り上げていきたい」と話していました。橋本さんは、平成12年4月から平成28年3月まで同窓会長、平成29年8月から協賛会会長を務めています。

訓子府高校は、昭和23年11月5日に「北見高等学校（現北海道北見北斗高等学校）訓子府分校」として創立しました。昭和27年には北見北斗高校訓子府分校から訓子府高校へと名称を変更し、昭和51年には、父母や住民から、町立から道立への移行を求める声が起こり、道立高校と

橋本 憲治さん（大町 70歳）

してスタートを切り、現在に至ります。訓子府高校は、今年3月末までに3,609人の卒業生を送り出しています。

「訓子府高校創立70周年を祝うため、平成29年8月に協賛会が発足しました。記念事業としては、11月に記念式典と祝賀会を挙行し、協賛事業として記念誌などを発行します。また、同窓生の方を講師に招き、講師の体験談を交えた講演会を予定しています」

「70周年を迎えた訓高は、近年生徒数が増えてきてうれしく思っていますが、今後、近隣市町の高校も含め、生徒数が減少することが考えられ、寂しさを感じています。節目を契機に訓高を盛り上げ、存続も含めてがんばっていきたいと思っています。生徒を確保するために、町内に生徒募集の看板を設置する予定です。子どもが減ると、町の衰退にもつながると思うので、子どもが元気な町を維持していきたいですね」

「今後も訓高の存続に向けて、町や町民の方の協力をお願いしたいです。また、地域の子どもが大勢入学してくれるとうれしいですね」

お便り
姉妹まちからの

高知県津野町



455人、林道を激走
第20回記念
北山林道駆け足大会

「北山林道駆け足大会」が6月10日に開催され、スタート前から降り出したあいにくの小雨の中、女性116人を含む455人が参加し、約12km走りました。沿道に詰め掛けたたくさんの方の温かい応援とご協力により、参加者全員がけがもなく無事に終了しました。今年第20回記念大会として趣向を凝らし、20年連続参加の方にはゴールのゼッケンやバックを記念品として贈呈し、また、閉会式までの時間を利用して津野山古式神楽が披露され、抽選会では、特別賞も出されるなど参加者の方は存分に楽しんでいました。



わたしたちの国民年金

免除を受けた保険料を「追納」することができます！

国民年金保険料の免除や猶予、学生納付特例の承認を受けた期間があると、保険料を全額納付したときに比べて将来受け取る老齢基礎年金の額が少なくなります。しかし、免除の承認を受けた月から10年以内であれば、いつでも免除期間分の保険料をさかのぼって納付（追納）することができます。追納をすれば、将来受け取る年金額を増やすことができます。将来のためにできる限り追納をしましょう。例えば、「学生納付特例の承認を受けた方であれば「就職後、ボーナス時にだけ3か月分を追納する」など、無理のない範囲で計画的に納付することができます。

お早めに追納を！

○保険料の免除や猶予、学生納付特例の承認を受けた期間の翌年度から起算して3年度目以降に保険料を追納するときには、当時の保険料額に、経過期間に応じた加算額が上乗せされますので、お早めの追納をおすすめします。

なお、平成31年3月までに追納するときの保険料は、次の表のとおりです。

	全額免除	3/4免除	半額免除	1/4免除
20年度分	15,170円	11,380円	7,580円	3,790円
21年度分	15,260円	11,440円	7,630円	3,810円
22年度分	15,520円	11,640円	7,760円	3,880円
23年度分	15,310円	11,470円	7,650円	3,820円
24年度分	15,160円	11,360円	7,580円	3,780円
25年度分	15,130円	11,350円	7,570円	3,780円
26年度分	15,280円	11,460円	7,640円	3,820円
27年度分	15,610円	11,700円	7,800円	3,900円
28年度分	16,260円	12,190円	8,130円	4,060円
29年度分	16,490円	12,370円	8,240円	4,120円

○問合せ 北見年金事務所 (☎ 25-9635)
町民課戸籍年金係 (☎ 47-2203)

納め忘れはありませんか？国民年金保険料

くんねっぷファン

読書の魅力を利用者に

鴨澤 奈々さん（東町 28歳）



今日は、鴨澤奈々さんにお話を伺いました。

「滝川市出身で、小学6年生のときに訓子府に来ました。北見の高校、札幌の大学を卒業後、札幌の民間企業に就職していましたが、地元に戻り、今年の4月から町図書館の短期事務補助員として働いています」

「小さいころから読書が好きだったこともあり、読書の魅力や読書を通して、世界が広がる楽しさを多くの方に伝えたいと思います。この仕事を選びました。利用者が方が優しく接してくれてとてもうれしいです。これからは、利用者の方の気持ちになつて考え、要望に応えられる職員になりたいです」

「時間ができたら、海外旅行に行つてみたいですね。また、韓国語の勉強もしてみたいと思います」